

鳥取市議会決算審査特別委員会文教経済分科会会議録

会議年月日	令和8年2月25日（水曜日）		
開 会	午後1時53分	閉 会	午後2時42分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席分科員 (7名)	分科会長 石田憲太郎 副分科会長 中山 明保 分科員 水口 誠 金田 靖典 西村紳一郎 長坂 則翁 砂田 典男		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	なし		
事務局職員	参事兼調査係長 遠藤 全 議事係主任 稲田 直		
出席説明員	【教育委員会】 教 育 長 河井登志夫 教育委員会事務局副教育長 徳高雄一郎 次長兼教育総務課長 山名 常裕 教育総務課課長補佐 前田 英樹 教育総務課学校施設係長 石原 裕也 教育総務課校区審議室主査 岡部 孝志 次長兼学校教育課長 浅見 康陽 学校教育課参事 福山 暁博 学校教育課課長補佐 古網 有紀 学校教育課放課後児童支援係長 若宮 健一 総合教育センター所長 狩野 司 総合教育センター所長補佐 蜂谷 知哉 学校保健給食課長 蔵増 彩 学校保健給食課課長補佐 木村 裕司 学校保健給食課学校給食係長 田中 崇仁 文化財課長 佐々木孝文 文化財課課長補佐 加川 崇 生涯学習・スポーツ課長 浜田 哲弘 生涯学習・スポーツ課課長補佐 平田 政志 生涯学習・スポーツ課施設係長 西垣 宏史 生涯学習・スポーツ課主査兼生涯学習係長 保木本あい子 中央図書館長 中島 泉 中央図書館副館長 山根 初美		
傍 聴 者	なし		
会議に付した事件	別紙のとおり		

予算審査特別委員会文教経済分科会に切換え 午後1時53分 開会

◆石田憲太郎分科会長 それでは文教経済委員会をここで終了いたしまして、予算審査特別委員会文教経済分科会に切換えて開催をしたいと思います。

【教育委員会】

議案第6号令和8年度鳥取市一般会計予算について（説明）

◆石田憲太郎分科会長 それでは、議案第6号令和8年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分の説明をお願いします。皆様の準備いいでしょうか。では、報告をお願いします。山名次長。

○山名常裕次長兼教育総務課長 教育総務課山名でございます。令和8年度鳥取市一般会計歳入歳出予算のうち、教育委員会の所管に属する部分についてお配りしております文教経済分科会説明資料と事業別概要で説明をさせていただきます。歳入につきましては歳出を説明する中で必要に応じて説明をさせていただきます。歳出の説明につきましては件数も多いことから、各課で主な事業を説明させていただきます。また、2月10日の予算概要説明、全員協議会で御説明申し上げた内容と重複する事業もございますので、あらかじめ御了承いただければと思います。

◆石田憲太郎分科会長 浅見次長。

○浅見康陽次長兼学校教育課長 学校教育課浅見です。それでは資料は13ページを御覧ください。民生費、児童福祉費、児童福祉総務費、1の放課後事業対策事業費です。事業別概要は215ページの下段となります。予算額が8億2,450万9,000円、令和7年度当初予算額と比較しまして9,744万2,000円の増でございます。財源内訳ですが、国県支出金が5億4,926万4,000円、地方債、放課後児童対策事業債が100万円、その他財源、放課後児童クラブ敷地内の電柱使用料となりますが、これが6,000円、一般財源が2億7,423万9,000円でございます。

事業内容ですが、78の放課後児童クラブの運営委託費や学校との連携や放課後児童クラブへの助言、支援を行う放課後児童クラブアドバイザー2名の人件費、その他施設修繕費や光熱水費等です。令和8年度は2クラブが統合し、1クラブを新設し、全部で78クラブを運営する予定でございます。変更の内訳としましては、瑞穂小学校のみずほ児童クラブが利用児童数の減少により保護者会からの廃止の申出がありました。みずほ児童クラブに通っていた児童はNPO法人イロトリドリが運営するたからの子児童クラブ、これは宝木小学校でございますが、たからの子児童クラブに入所します。

また、湖山西小学校のめだか児童クラブつくし組、こちらも利用児童数の減少に伴い、同じく湖山西小学校にありますめだか児童クラブと統合します。それから入所児童数の増加により、岩倉小学校に1クラブを新設する予定となっております。

令和7年度当初予算と比較して増額になった主な内容でございますが、放課後児童クラブ運営委託料が増額となっているものです。主な要因としましては放課後児童クラブ運営費の算出根拠となる国の子ども・子育て支援交付金の単価が改定されたことに加え、委託料算定の基準としております人件費単価、本市では市の会計年度任用職員の時給単価を基準として採用しておりますが、この人件費単価が報酬改定により引き上げられたことに伴う増となっております。

続きまして資料の14ページを、失礼しました。学校教育課、以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 山名次長。

○山名常裕次長兼教育総務課長 続きまして資料の13ページの2段目のところです。民家プール活用事業費でございます。事業別概要は213ページでございます。予算額は2,385万4,000円、

財源は全て一般財源でございます。本事業は学校プールの老朽化や管理業務の教職員負担が課題となる中で、令和6年度に設置した鳥取市立学校プール施設の在り方に関する検討委員会において、学校プールにおける課題を整理しまして令和7年度に民間スイミングスクールを活用したモデル事業を3校、扶桑小学校と福部未来学園、それと用瀬小学校でしたが、実施したところです。このモデル事業を検証した結果、水泳事業の民間プール活用により老朽化した学校プールの改修等に全体に係る経費の抑制や維持管理費の教職員負担の軽減に効果があるということが分かってまいりました。令和8年度はさらに実施校を増やして児童生徒の輸送や民間プール利用者への影響などより踏み込んだ検証を行うために、モデル事業を9校、これは新たに久松小学校と明德小学校、こちらがサンフィッシュスイミングプール、千代南中学校が智頭の温水プール、あと、米里小学校が、これは新しい事業者ですが、フィットネスクラブPAJA、湖山小学校がフィットネス&スパZeroスポーツ、こちらへ拡大して実施するものでございます。そのために増額になっている要因でございます。以上です。

◆石田憲太郎委員長 岡部室長。

○岡部孝志教育総務課校区審議室長 校区審議室の岡部です。続いて資料13ページの中段にありますナンバーでいくと36の鳥取市立学校区再編推進事業費でございます。事業別概要は213ページ下段でございます。では、説明させていただきます。市立学校区再編推進事業費についてですが、予算要求額は251万4,000円、全て一般財源です。事業概要といたしましては事業別概要の中段の事業の概要にもありますように、校区再編に関する経費でございます。具体的には学校統合等について地域で検討する組織、学校の在り方を考える会というものですけれども、そういったものの立ち上げの説明会に関する経費、あるいは令和13年4月の開校を目指している気高地域学校統合に関する経費であるとか、気高地域の学校統合準備委員会というのも開催しておりますけれども、その経費。また、統合等が見込まれている小学校同士の児童が交流するためのバスの借り上げ料、そして、学校の在り方検討会などが市内の、例えば義務教育学校を視察したいというときの視察経費などが上げられております。

前年度と比較して増額となっている要因といたしましては、先ほども説明させていただきましたけれども、河原地域において統合等の検討が進められているということもありますので、来年度につきましては気高地域に続いて河原地域においても、小学校同士の児童が交流できるための移動手段であるバス等の借り上げ料を増額しているというところがありますし、先ほどもお伝えしましたがけれども、開校が近づいている気高地域の関連する経費についても増額ということを上げさせていただいているという状況でございます。説明については以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 山名次長。

○山名常裕次長兼教育総務課長 教育総務課山名です。その下の塗ってある部分です。43番のところ、小中学校空調整備事業費でございます。事業別概要書は214ページの上段になります。予算額は6,843万8,000円。財源内訳は地方債が6,840万円、一般財源が3万8,000円でございます。本事業は学校施設において気候変動などの要因による夏場の熱中症予防対策等への対応のため、特別教室に空調設備を整備し、教育環境の向上を図るものでございます。令和8年

度の内容は、中学校・義務教育学校特別教室空調整備実施設計業務、これの2期としまして12校、具体的には東中、西中、南中、北中、国府中、気高中、青谷中、湖南学園、福部未来学園、鹿野学園の流沙川校舎と王舎城学舎、それと江山学園、この設計に取り組むとともに、青谷中学校の特別教室の設置工事のほうに取り組むものでございます。

ちなみに小・中・義務学校特別教室への空調設置率は令和8年2月末現在で53.79%でございます。引き続き計画的に設置を進めてまいりたいと考えております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 浅見次長。

○浅見康陽次長兼学校教育課長 学校教育課浅見です。では、その下になります45です。特別支援教育推進事業費です。事業別概要は218ページの上段になります。予算額は1億9,692万1,000円。財源の内訳ですが、その他財源ふるさと納税基金繰入金が2,426万5,000円、一般財源が1億7,265万6,000円となります。事業内容ですが、教育支援委員会の開催に係る経費と各学校に配置する特別支援教育支援員の人件費となります。特別支援教育支援員につきましては、本年度令和7年度は合計で76名を学校に配置しておりますが、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた配慮や支援内容が多様化している状況に対応するとともに、インクルーシブ教育の推進のため、令和8年度においては5名増の81名、内訳としましては週30時間勤務が45名、週19時間勤務が36名、計81名を配置する予定としております。

◆石田憲太郎分科会長 狩野所長。

○狩野 司総合教育センター所長 引き続きまして児童生徒支援事業費1億2,755万円でございます。資料は13ページ、事業別概要219ページ上段です。児童生徒支援事業費になります。昨年度と比較し3,048万5,000円の増です。主な増額理由は校内サポートルーム支援員に係る経費2,831万9,000円になります。不登校や問題行動、児童虐待、貧困等に悩む児童生徒が増加する中、学校に児童生徒相談員に加え、来年度より県補助金を加えた市費による校内サポート教室支援員を配置します。本事業はこれまで県が実施していた校内サポート教室設置事業が各市町村へ移管されたことに伴い、来年度からは本市が主体となって実施するものです。引き続き児童生徒が安心して教育を受けられる魅力ある学校づくり、個々の不登校児童生徒の状況に応じた支援に柔軟に対応するため、教員免許を持つ支援員6名を配置し、週30時間体制でサポート教室の運営や生徒、保護者への積極的な支援を行ってまいります。

続きましてGIGAスクール構想事業費でございます。資料は14ページ、事業別概要221ページ上段です。GIGAスクール構想事業費9,458万4,000円です。令和8年3月より第2期GIGAスクール構想に係る1人1台端末の運用が開始となります。整備期間は令和8年3月1日から令和13年2月28日までのリース契約になっており、月額481万4,000円の賃貸料になります。なお、整備台数は児童生徒用端末予備機15%を含め1万5,073台分になります。また、鳥取市GIGAスクール運営支援センターの委託に関しては、令和7年12月で採決いただいた債務負担行為分1,647万3,000円を計上しています。令和4年度から鳥取市GIGAスクール運営支援センターを設置していますが、学校現場でのICTの利活用が進むに従い、運営支援センターの問合せも少しずつ増えている傾向にあります。

令和6年度実績では年間2,016件の学校対応を行っていますが、令和7年度につきましては

1月末までで2,043件の対応実績になっております。令和8年度には第2期鳥取市学校教育情報化推進計画に改定されることから、ICTを効果的に活用し、子ども一人一人の可能性を引き出す個別最適な学びを一体的に充実させ、次代を担う人材育成を図るため学校教育の情報化をより一層推進してまいります。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 蔵増課長。

○蔵増 彩学校保健給食課長 学校保健給食課蔵増です。同じく14ページ上から7行目、8行目です。要保護・準要保護児童就学援助費（小学校）、事業別概要は222ページ下段、それから要保護・準要保護の中学校の分、事業別概要は223ページ上段です。小学校分につきましては予算額が3,728万円、中学校につきましては予算額が6,354万2,000円です。これは経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒に対して、就学のため必要となる学用品費のほか、修学旅行費やオンライン家庭学習通信費の一部を支援するもので、援助を必要とする保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き事業を実施してまいります。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 山名次長。

○山名常裕次長兼教育総務課長 続きまして15ページ中段辺りになります。49番のナンバーのところ。鳥取市気高地域新設統合小学校整備事業費でございます。事業別概要は215ページの上段になります。予算額は4億7,191万9,000円、財源内訳は地方債が4億2,500万円、その他財源が4,686万3,000円、これは公共施設等整備基金繰入金でございます。一般財源が5万6,000円でございます。本事業は令和13年4月開校予定の気高地域新設統合小学校の整備費でございます。具体的な資料を21ページのほうに用意しておりますので、そちらを御覧ください。

まず、事業の内訳ですが、建物の基本設計に4,116万5,000円、実施設計に5,202万2,000円ということでございます。それで、外構設計のほうに561万9,000円、用地買収・造成に3億7,303万3,000円でございます。それで、この設計に当たっては、これまで気高地域の児童生徒保護者、学校、地域住民の代表で構成される気高地域学校統合準備委員会にいただいた御意見を踏まえながら進めているところでございまして、現在、右側にありますようなレイアウトで基本設計を進めているところでございます。簡単に申し上げますと、敷地南側に校舎3階建てと屋内運動場を配置し、グラウンドは校舎と平行にトラックを配置、あと、大型バスの回し場を敷地内西側に設置、駐車場は西側に来訪者、保護者、東側に教職員、児童クラブ送迎、地域開放利用者、それで正門は西側で、遊具をグラウンド北側、それでプールは公共活用を検討という内容でございます。

また、統合準備委員会から防災を意識した学校や地域に開かれた学校、可能な限り木材を利用したものをといった御意見をいただいております。これらを踏まえてマンホールトイレ等の設置であるとか、地域の皆様も利用することができる多目的ホール、また、可能な限りの木材利用、こういったことを設計に盛り込むべく検討を進めているところでございます。それで、スケジュールは令和7年度から9年度に基本設計、実施設計、令和10年度、12年度に建設工事を行い、令和13年4月に開校予定でございます。説明は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 浅見次長。

○**浅見康陽次長兼学校教育課長** 学校教育課浅見です。続きまして資料は16ページを御覧ください。上から4番目の部活動推進事業費でございます。事業別概要は221ページの下段となります。予算額は4,064万7,000円、財源内訳は国県支出金が2,204万3,000円、一般財源が1,860万4,000円となります。事業内容ですが、部活動地域展開コーディネーター、部活動指導員及び部活動外部指導者に係る人件費及び報償費、部活動改革委員会の開催に係る経費等となっております。学校や地域の実情に応じながら部活動の地域展開を円滑に進めるために令和5年度から統括コーディネーターを配置しており、令和8年度も引き続き2名の統括コーディネーターを配置していきます。また、令和9年度の休日の部活動の地域展開に向け、各学校における部活動地域展開のさらなる推進を図るため、部活動指導員及び部活動外部指導者について拡充したいと考えております。部活動指導員は104名に、部活動外部指導者は13名となる見込みでございます。令和9年度には休日の部活動の地域クラブへの完全移行を行うことにしております。令和8年度にはそれに先行して複数の部活動が地域クラブによる活動に移行する見込みとなっております。以上でございます。

◆**石田憲太郎分科会長** 浜田課長。

○**浜田哲弘生涯学習・スポーツ課長** 生涯学習・スポーツ課浜田です。同じく16ページの中段、鳥取市生涯学習推進講座麒麟のまちアカデミー開設費です。事業別概要は231ページの上段となります。予算額は1,424万1,000円、財源につきましては、その他財源でふるさと納税基金繰入金となっております。麒麟のまちアカデミー開設費につきましては、豊かな人生、豊かな社会を築く生涯学習の推進のため、文化センターを拠点として各種生涯学習講座を実施しております。麒麟のまち圏域1市6町に在住、または在勤の方を対象に多様な学習機会を提供しております。

内容ですが、おおむね60歳以上を対象とする尚徳大学というものがありますが、社会コース、健康コース、郷土、園芸など8つの専門コースの講座と3回の合同学習を行います。また、年齢を問わない一般向けとしまして昨年までであった教養コース、技能コース、ジュニアチャレンジコースにつきましては、新たに麒麟のまちゼミナールとしまして再編をいたしまして、時代の変化に対応した学習や生活に必要な知識、技能の習得、自己の生きがいづくりなど多様なニーズに応じた幅広い講座を行います。そして、ファブラボとっとりでは金属も加工できるレーザー加工機ですとか、3Dプリンターなど多様な工作機器を備えており、ものづくり体験を通して市民の生涯学習の推進を図ってまいります。こちらにつきましては近年、小学生などのほか、社会人からの利用希望が増えておまして、令和8年度につきましては新規に大人のクラフト体験という事業を実施することとしております。以上です。

◆**石田憲太郎分科会長** 佐々木課長。

○**佐々木孝文文化財課長** 文化財課佐々木でございます。資料17ページを御覧ください。下から7行目、重要文化財仁風閣保存整備事業費です。事業別概要は226ページ下段、本年度の予算額は3億8,132万3,000円、財源内訳は国県支出金が2億3,553万5,000円、地方債が1億4,160万円、一般財源が418万8,000円です。こちらは重要文化財仁風閣の保存修理工事と併せて再開化に備えた保存活用計画の策定を行うこととしております。こちら、別添に資料をしております。

ますので22ページを御覧ください。現在の仁風閣の状況を併せて御説明いたします。右側のほうに少し小さいんですが、絵が載っております。すみません。ちょっと訂正がございまして、右側2段、天井張り替え範囲というのがありまして、上は天井の張り替え範囲なんですが、下側が壁紙の張り替え範囲でございます。

こちらの図ですけれども、青い部分が当初の見込みによる解体、張り替え等が必要だった範囲でございます。実際に事前の調査ではこの範囲と考えていたのですが、外壁のほうを剥がしたり、天井裏の部材のほうの確認、解体を進めてみましたところ、写真のように見えない部分でかなりの腐朽が進んでいるということが分かりまして、修理範囲が現在少し拡大してきているというところでありまして、想定以上に破損が進んでいるということがありまして、それで現在、もう少し解体を進める必要が出てきております。現時点では工事を続行するために契約額を上げる必要がありますので、後で、債務負担行為で御説明いたしますけれども、総事業費のほうが高くなってきているという状況であります。なお、まだ修理範囲が完全に確定できておりませんので、今年の8月頃に最終的な事業費が確定できるものと考えております。

続きまして17ページ下から6行目、鳥取城跡保存修理事業費でございます。事業別概要は227ページ上段、こちら本年度の予算額は1億1,990万5,000円、国県支出金が6,435万9,000円、地方債が5,190万円、一般財源が364万6,000円でございます。こちらについても別添の資料をつけておりますので23ページを御覧ください。鳥取城跡につきましてはこれまでも継続して保存修理工事、整備工事、復元事業等を進めてきたところでありまして、工程が遅れてきていることなども含めまして、計画の見直しを今、進めております。二ノ丸の三階櫓の早期復元を視野に整備計画の見直しを進めておりまして、令和8年度、9年度で工程の立て直しを行う予定としております。

令和8年度につきましては、二ノ丸の三階櫓台下整備計画策定、中ノ御門周辺整備実施設計業務、中ノ御門の番人小屋の瓦型の作成業務といった形で、整備計画の見直しと併せまして環境整備を進めてまいります。併せて鳥取城フォーラムですとか、例年行っております史跡の学術調査、保存管理に必要な業務等を実施していく予定としております。

続きまして18ページを御覧ください。18ページ4行目でございます。上寺地遺跡管理事業費、事業別概要は228ページ上段になります。本年度の予算額は9,756万3,000円、うち、地方債が5,530万円、一般財源が4,226万3,000円となっております。こちらのほうも別添資料をつけておりますので24ページを御覧ください。青谷上寺地遺跡に関しましては令和5年度に半分の部分が完成しておりまして、こちら、青谷かみじち史跡公園として既に公開を県のほうが行っております。令和8年度以降は残りの北側半分のエリアの整備を行っていく予定としております。令和8年度の整備事業と指定管理費用を合わせた金額ということになります。現時点の予定では令和10年度までこの北側整備工事を行いまして、令和11年度にグランドオープンとして全体が完成する予定となっております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 中島館長。

○中島 泉中央図書館長 中央図書館中島です。同じく18ページの中ほど、市民図書館費、社会教育活動総合事業費です。事業別概要書は238ページの下段です。予算額は63万2,000円で全

額一般財源です。これは音読教室やお話会など、また、絵本の読み聞かせボランティア養成講座など読書活動の推進事業の経費となっております。続きまして1つ飛ばしてその下、図書購入費です。予算額は4,010万7,000円でその他財源がふるさと納税基金3,636万7,000円、残りは一般財源となっております。これは中央図書館、用瀬図書館、気高図書館と6つの図書室の図書資料約1万7,000冊と電子書籍1,000コンテンツを整備する経費となっております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 蔵増課長。

○蔵増 彩学校保健給食課長 学校保健給食課蔵増です。資料は19ページ下から7行目を御覧ください。一般管理費（学校給食センター）、事業別概要は225ページ下段です。予算額は1億1,135万1,000円です。これは本市の学校給食センター8施設の維持管理に要する経費です。近年の猛暑に対応するため、これまでも熱中症対策はしてきましたが、令和8年度もさらに熱中症対策を行いたいと考えております。実施内容としましては、湖東学校給食センターにスポットクーラーや工場扇、いわゆる扇風機ですが、を設置するとともに、国府、気高、青谷の空調修繕を予定しています。

続きまして4行下の学校給食運営事業費、事業別概要は226ページ上段です。予算額は9億7,555万7,000円、財源内訳のうち、国県支出金は国の物価高騰対応重点支援交付金2,358万9,000円、県の給食費負担軽減交付金、これはいわゆる国の抜本的負担軽減の交付金になります。これが4億8,185万2,000円、同じく県の地産地消率向上支援事業補助金100万円です。令和7年度からの主な増額としましては、物価高騰を踏まえ、賄い材料費を約5,000万円増額しております。小学校児童の賄い材料費につきましては、国の学校給食費の抜本的負担軽減策として1人当たり月額5,200円の基準額を児童数掛ける11か月分ということで、4億8,185万2,000円が給食費負担軽減交付金として交付される予定です。

また、今年度活用し、令和8年度も地元産の果物等を活用したデザートを提供を考えております。栄養教諭などの食育指導を併せて行うことで鳥取の食材についてより理解するとともに、子どもたちに楽しんで食べていただけるものと考えております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 浜田課長。

○浜田哲弘生涯学習・スポーツ課長 生涯学習・スポーツ課長浜田です。資料は20ページの中段になります。ワールドマスターズゲームズ2027関西大会開催事業費です。事業別概要は236ページの上段となります。予算額につきましては434万7,000円、全額一般財源となります。別資料で25ページをお願いいたします。ワールドマスターズゲームズにつきましては、おおむね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる障がいスポーツの国際総合競技大会でございます。2027年、令和9年度ですけれども、日本初の開催といたしまして、鳥取県と徳島県を含みます関西各地で実施される予定となっております。

本市では令和9年の5月14日から18日までアーチェリー、これは男女別、年代別、3種目別の個人戦となりますけれども、アウトドア競技につきましては、布勢の陸上競技場、インドア競技につきましては、鳥取県民体育館のほうで行われます。令和8年度につきましては、令和9年度の本番大会に向けましたプレ大会、こちらのほうを6月と12月にそれぞれ行うこととし

ておりまして、今回の当初予算ではそのプレ大会の開催等に要する経費と大会のPR経費などに係る市の負担分として計上しております。負担割合、県もあるんですけども、市のほうは3分の1、県のほうが3分の2という負担割合になっております。このほか令和8年度につきましては、本番に向けました開場施設の整備も準備が必要となりますけども、これらの経費につきましては、今後もう少し精査が必要でして、県などとも協議をしていかないといけないということになりますので、今のところ、もう少し精査をさせていただいて、9月補正のほうで対応できればと考えているところでございます。

続きまして20ページのほうに戻っていただきまして、1つ下、各種大会開催補助金となります。事業別概要は236ページの下段となります。予算額は250万円、財源はその他財源で青少年育成基金繰入金となっております。こちらにつきましては、令和8年度の夏に全国中学校体育大会、いわゆる全中というものですけども、そちらのほうが中国地方を会場といたしまして開催されます。本市では8月18日から20日まで鳥取県民体育館におきまして新体操競技、こちらのほうが行われる予定です。大会の運営自体は鳥取県が実行委員会におきまして県や市の中学校体育連盟のほうが中心となってされますので、その体育会の運営経費に係る市の負担金として今回は計上させていただいております。こちら県も負担もございまして、市と県で1対2の負担割合となっております。

続いて20ページのその2つ下、体育施設管理費です。事業別概要は237ページの下段となります。予算額は4億5,806万7,000円、財源内訳は国の交付金が2,234万1,000円、起債が2億780万円、その他財源として公共施設等整備基金繰入金等で1,481万8,000円、残り一般財源が2億1,310万8,000円となっております。こちらは指定管理制度を導入しまして、管理運営を行っている体育施設24施設に要する経費となっております。内訳としましては、その体育施設24施設の指定管理料が2億2,186万7,000円、それと主な施設改修費としまして、武道館の空調設備の設置工事、あと、青谷町トレーニングセンター屋根の改修工事、あと、市営サッカー場大型映像装置付帯設備更新事業、こちら合わせまして2億803万2,000円、そのほか施設の修繕費ですとか、火災保険料など2,816万8,000円となっております。

そのうち、事業の説明としまして、別資料ですが、26ページをお願いいたします。市営サッカー場大型映像装置付帯設備更新事業についてです。市営サッカー場、AXISバードスタジアムでございますが、大型映像装置につきましては、平成24年度の運用開始から約14年がもう経過しようとしておりまして、メーカーの保守が期限が終了してしまった部品が散見されるようになってきました。これらが故障した際には修理ができないことから、今後も継続して保守が受けられるよう令和6年度から計画的に大型映像装置の主要部品につきましては設備更新を行っているところでございます。令和8年度につきましては、バードスタジアムの3階の放送室でございます映像切替えですとか、映像分配など、映像信号処理全般を行います機器の一式につきましては、更新を行うもので経費は2,299万円、財源としましては、充当率90%の起債を充てることとしております。

今後のスケジュールですけども、当初予算の議決がいただけましたら、4月以降すぐに契約事務のほうを進めまして、こちらJリーグのほうが来期から、8月開幕9月閉幕の秋春制に移

行されますので、試合など影響のない時期を見ながら作業を実施したいと考えているところでございます。説明は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 蔵増課長。

○蔵増 彩学校保健給食課長 学校保健給食課蔵増です。続きまして債務負担行為について説明をさせていただきたいと思っております。説明は事業別概要でさせていただきたいと思っております。事業別概要 293 ページをお願いいたします。学校給食センター整備費、北部学校給食センター建築工事です。限度額は3億619万2,000円、期間は令和8年度から9年度です。財源内訳は起債が3億610万円、一般財源が9万2,000円です。令和7年度2月補正予算でも先ほど説明をさせていただきましたが、建築工事及び電気工事と施工調整が必要な給排水工事に付随した厨房機器の設置につきまして、当初の本契約以降に施工調整を行いまして令和7年度中に発注する予定としていましたが、国の交付金の内定及び入札が遅れたことで施工調整を令和8年度以降に実施するものです。説明は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 浜田課長。

○浜田哲弘生涯学習・スポーツ課長 引き続き294ページをお願いいたします。この294ページから297ページまでの4件につきましては、生涯学習・スポーツ課が所管いたします施設で、いずれも指定管理者制度に基づきます指定管理料に係るものでございます。こちら、既に令和6年度から令和10年度までの5年間の管理委託といたしまして債務負担行為の設定がされているものですが、近年の人件費の高騰などに伴いまして適切な水準の指定管理料に変更するため、増額分の債務負担行為の設定を行うものでございます。

なお、これら4件以外にも、所管する指定管理施設25ですが、こちらにつきましては令和8年度から指定管理として、今年度更新するタイミングでしたので、今年度の9月補正におきまして、そちらのほうにつきましては、既に人件費高騰なども反映した額で既に債務負担行為の設定済みとなっております。

では、まずは294ページでございます。鳥取市佐治町コミュニティセンターの管理運営費に係る債務負担でございます。増額分の限度額につきましては令和9年度から10年度までの2年間、こちらで151万8,000円、全額一般財源となります。こちら、増額分の算出につきましては現在の指定管理料の積算額をベースといたしまして、人件費の指標であります変動率がございまして、そちらの令和6年度から令和7年度にかけての変動率、こちらを乗じまして算出しております。こちらは全市的な対応で変動率は掛けて算出するものでございます。事業の目的ですとか、事業の内容につきましては、変更はございませんので、現在の指定管理者につきましては特定非営利活動法人さじ未来となっております。

指定管理料の変更ですが、こちらは令和7年度から1年当たり75万9,000円増額いたしますが、令和7年度分につきましては今回の2月補正、令和8年度分につきましては当初予算のほうでそれぞれ計上いたしますので、債務負担行為といたしましては令和9年度と10年度の設定という流れとなっております。今後の取組ですが、2月議会で議決後は変更後の金額で4月に令和8年度の指定管理に係る年度協定書、こちらを締結いたしまして適切な管理運営を実施していきたいと考えているところでございます。

続いて295ページ、鳥取市文化センターの管理運営費に係る債務負担でございます。増額分の限度額は令和9年度から10年度の2年間で689万6,000円、全額一般財源でございます。現在の指定管理者は一般財団法人鳥取市教育福祉振興会でございます。指定管理料の変更につきましては、令和7年度から1年当たり344万8,000円増額いたします。

続いて296ページをお願いいたします。鳥取市営サッカー場バードスタジアムの管理運営費に係る債務負担でございます。増額分の限度額につきましては、令和9年度から10年度の2年間で128万2,000円、全額一般財源です。現在の指定管理者は一般財団法人鳥取県サッカー協会、指定管理料の変更につきましては、令和7年度から1年当たり64万1,000円増額いたします。

続いて297ページをお願いいたします。鳥取市B&G海洋センターの管理運営費に係る債務負担行為です。増額分の限度額につきましては令和9年度から10年度の2年間で158万6,000円、全額一般財源、現在の指定管理者は株式会社さんびるでございます。指定管理料の変更につきましては令和7年度から1年当たり79万3,000円増額となります。説明は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 佐々木課長。

○佐々木孝文文化財課長 文化財課佐々木でございます。引き続き298ページを御覧ください。

重要文化財仁風閣保存整備事業費です。債務負担行為の限度額は1億2,399万8,000円、期間は令和9年度から10年度、財源内訳は国補助が6,199万9,000円、県費が1,508万7,000円、起債が4,230万円、一般財源が461万2,000円でございます。当初予算のほうでも説明させていただきましたけれども、仁風閣の修理事業に関して解体を続けておる結果、工事範囲が拡大してまいりましたので、それに伴う契約変更のための債務負担行為の変更をお願いするものがあります。

現在までの債務負担行為限度額は4億3,481万9,000円で令和7年度から10年度でありました。それで、追加後の工事合計額は7億3,908万8,000円でございます。一応、現時点の予定としましては令和10年度いっぱい、10年度まで修理工事を行いまして、10年度に公開のための整備を行い、11年度にオープンさせるという見込みで進めております。

続きまして299ページを御覧ください。仁風閣・宝扇庵管理事業費でございます。限度額は58万円で令和9年度でございます。これは仁風閣の閉館期間中に仮施設を設置して仁風閣の機能の一部を代替しているものでありますが、そちらについて人件費が上昇してきたこと等、賃金水準及び物価指数の大幅な上昇に伴いまして適切な価格転嫁をするために委託料のほうを変更しようとするものであります。なお、令和9年度で閉館する予定としていた当初の仁風閣の修理工期に合わせたものでありましたので、今後、開館期間等については再度検討していく予定としております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 それでは以上説明をいただきました。委員の皆様で聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手願います。よろしいですか。それではないようでありますので、以上で教育委員会に関する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済分科会を閉会いたします。それでは執行部の皆様は御退出ください。

決算審査特別委員会文教経済分科会（令和8年2月25日）

午後2時42分 閉会

文教経済委員会・ 予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程

日時：令和8年2月25日（水）10：00～

場所：7階 第2委員会室

教育委員会 (10：00～)

----- <文教経済委員会> -----

◎議案（先議分）【説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和7年度鳥取市一般会計補正予算（第8号）【所管に属する部分】

◎報告

- ・第3期鳥取市教育振興基本計画の策定について（教育総務課）
- ・鳥取市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について
（学校教育課）
- ・第2期鳥取市学校教育情報化推進計画の策定について（学校教育課）
- ・鳥取市放課後児童対策行動計画（第3期計画）の策定について（学校教育課）
- ・第5次鳥取市子どもの読書活動推進計画の策定について（生涯学習・スポーツ課）
- ・第3期鳥取市スポーツ推進計画の策定について（生涯学習・スポーツ課）
- ・第3期鳥取市図書館振興計画の策定について（中央図書館）
- ・河原中学校区における校区再編の動向について（校区審議室）
- ・岩吉遺跡出土遺物の鳥取県保護文化財指定について（文化財課）
- ・移動図書館車巡回の減便（夏季）について（中央図書館）

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第6号 令和8年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】